

## 農業水利施設情報可視化事業（公共）

【25（25）百万円】

### 対策のポイント

基幹から末端に至る一連の施設の保全管理の充実、強化に向けて、県営造成施設の諸元、劣化状況等のGIS化の取組を支援し、情報の蓄積・共有・可視化を推進します。

### <背景／課題>

- ・食料・農業・農村基本計画（平成27年3月閣議決定）においては、「基幹から末端に至る一連の農業水利施設の保全管理の充実、強化に向けて、地理情報システムを活用した情報の蓄積・共有・可視化を通じ、関係者間の共有を図る」と位置付けられています。
- ・平成26年度～28年度までの3年間で、国営造成水利施設の諸元、劣化状況等のGIS化を実施し、情報の蓄積・共有・可視化を図ったところです。
- ・今後、県営以下の末端に至るまでの一連の施設の情報の蓄積・共有・可視化の推進が必要です。
- ・このため、本事業においては、県営造成施設に焦点を当てて、諸元、劣化状況等のGIS化の取組を支援するものです。

### 政策目標

○老朽化や災害リスクに対応した農業水利施設の戦略的な保全管理と機能強化

### <主な内容>

広域基盤整備計画調査対象地域内にあつて受益面積500ha以上の地区内に存する県営造成施設（国営造成施設と一体不可分な国営附帯県営造成施設）を対象に、GIS化の取組を支援します。

補助率：1／2  
事業実施主体：都道府県  
実施期間：平成31年度まで

[お問い合わせ先：農村振興局設計課（03-6744-2201）]

# 農業水利施設情報可視化事業

## 1. 背景

- 食料・農業・農村基本計画(平成27年3月閣議決定)においては、「基幹から末端に至る一連の農業水利施設の保安全管理の充実、強化に向けて、地理情報システムを活用した情報の蓄積・共有・可視化を通じ、関係者間の共有を図る」と位置付けられています。
- 平成26年度～28年度までの3年間で、国営造成水利施設の諸元、劣化状況等のGIS化を実施し、情報の蓄積・共有・可視化を図ったところです。
- 今後、県営以下の末端に至るまでの一連の施設の情報の蓄積・共有・可視化の推進が必要です。
- このため、本事業においては、県営造成施設に焦点を当てて、諸元、劣化状況等のGIS化の取組を支援するものです。

## 2. 事業内容

基幹から末端に至る一連の農業水利施設の保安全管理の充実、強化に向けて、県営造成施設の諸元、劣化状況等のGIS化を行い、情報の蓄積・共有・可視化の取組を支援する事業を創設

基幹から末端における整備イメージ



### 補助事業の対象

広域基盤整備計画調査対象地域内において受益面積500ha以上の地区内に存する県営造成施設(国営造成施設と一体不可分な国営附帯県営造成施設)

## 3. 活用の例

- ・ 更新・補修費用の平準化、対策箇所の優先付けの検討
- ・ 突発事故や災害時の影響範囲の特定、迅速な対策、地域住民への避難の周知など